

平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 浅 香 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鳶 田 長 秋
(コード番号 : 5 9 6 2 大 証 第 二 部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 本 部 長 藤 田 敏 雄
(T E L 0 7 2 - 2 2 9 - 5 1 3 7)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 16 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9, 000	120	120	50	4円83銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8, 000	20	50	△ 20	△ 1円98銭
増 減 額 (B - A)	△ 1, 000	△ 100	△ 70	△ 70	—
増 減 率 (%)	△ 11. 1	△ 83. 3	△ 58. 3	△ 140. 0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	8, 675	4	35	18	1円83銭

2. 修正の理由

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰等にて企業の景況感は弱含みの状態で推移してまいりましたが、米大手証券会社リーマン・ブラザーズの破綻を機とした世界的な金融危機の広がりによる円高・株安等の影響を受け、輸出が激減するなど企業収益は急速に悪化いたしました。その結果、各企業とも減産体制による雇用調整や、設備投資の抑制に拍車がかかるなど、個人消費にも大きな影響を与え、景気は急激に悪化してまいりました。

このような情勢下におきまして、当社は懸命の拡販策を採ってまいりましたが、当第3四半期累計期間の業績につきましても、設備投資等の縮小による需要の減少に加え、円高による輸出の減少と海外製品との価格競合もあって売上高は6, 096百万円(前年同期実績6, 702百万円)となりました。

利益面につきましても、コストの低減・諸経費の節減等、収益体質の強化に努めました結果、営業利益として38百万円、経常利益として72百万円を計上いたしました。固定資産売却益29百万円を特別利益に、保有株式の時価下落による投資有価証券評価損35百万円および貸倒引当金繰入額53百万円を特別損失として計上した結果、8百万円の四半期純損失となりました。

通期につきましても、期首の方針通り営業力の徹底強化と時代の変革に対応した新製品の開発・新分野の開拓等に全力を尽くし業績向上に邁進してまいりますが、当第3四半期の業績・今後の下半期の景気動向等を踏まえ当初の業績予想を修正させていただきます。

3. 特別損失の発生

保有株式の時価下落による投資有価証券評価損35百万円および貸倒引当金繰入額53百万円を特別損失に計上いたしました。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上